

## 水道財政のあり方に関する研究会（第5回）

### 1 開催日時等

- 開催日時：平成30年9月25日（火）17:00～19:00
- 場所：総務省5階選挙部会議室
- 出席者：石井座長、石井委員、石田委員、是澤委員、塩津委員、関口委員、西田委員、星野委員、望月委員  
小倉大臣政務官、沖部公営企業担当審議官、山越公営企業課長、  
本島公営企業経営室長、坂越準公営企業室長、松尾課長補佐 他

### 2 議題

- (1) 「水道財政のあり方に関する研究会」報告書骨子（案）について
- (2) その他

### 3 配布資料

- (資料1) 「水道財政のあり方に関する研究会」報告書骨子（案）
- (資料2) 持続的な経営のための基本的な考え方について
- (資料3) 多様な広域化の推進について
- (資料4) 更新投資を促進するための地方財政措置の検討について
- (資料5) 参考資料一覧

### 4 概要

- (1) 事務局より資料について説明。
- (2) 出席者からの主な意見
  - 広域化を推進していくことは重要だが、広域化できなかった地域をどう支援していくかが大事。広域化はそれ自体が目的ではなく、あくまで基盤強化の手段の一つであるということを強く打ち出してほしい。
  - 災害時には、ある程度の人数の職員がいなければ十分な対応ができないため、災害対応という観点から考えても、広域化により規模を大きくすることが重要になる。
  - 既に広域化が進んでいる東京都においても、30年かけてようやく実現できたものであり、今から広域化に取りかかったとしても、体制が整うまでには長い時間がかかるため、一刻も早く取り組む必要があることをメッセージとして打ち出す必要がある。
  - 簡易水道の統合の場合、受け入れた側の上水道において大きな負担が生じている事例もあり、簡易水道の統合の成果について検証を行うべきで

ある。

- 広域化プランの策定を求める場合には、その記載事項について、これまで実施してきたアセットマネジメントや経営比較分析表の数値を活用できるように整理することで、策定の手間を軽減できるのではないか。
- 広域化というと事業統合や経営の一体化のイメージがあるため、より広い概念の広域化のイメージを持ってもらうためには、資料3の図のようにわかりやすい形にして周知を図る必要がある。
- 水道法改正案の基盤強化計画と広域化プランの関係性について、広域化の概念も含めて整理する必要がある。
- 一般会計からの繰入を補助で行うか、出資で行うかについては、現場ではそれほど意識されていないとしても、しっかりと整理する必要がある。
- 個別の経営状況を分析すると、更新投資のための準備ができていない団体もみられることから、こうした団体において本当にどのようにして持続的な経営を確保するのか、考えていく必要がある。